R7.4.1

令和７年度　村田小グランドデザイン

いばらき教育プラン
活力があり、
　県民が日本一幸せな県
～茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指す～

・学習指導要領
・学校教育指導方針

めざす学校像
・明るいあいさつ
・楽しい学習
・きれいな学校

めざす児童像
（校訓）
・よく考える子
・たくましい子
・助け合う子

めざす教師像
・明るく公正
・厳しく、優しく
・学びを究める

〇よく考える子・・・・・自ら考え行動できる、かしこい子
〇たくましい子・・・・・心身ともに健康で、 強い意志と実践力のある子
〇助け合う子・・・・・・素直で思いやりのある、やさしい子

第２次
常陸大宮市教育振興基本計画
輝くひとを育むまちづくり
・学力向上にコミットする教育の推進
・地域力を高める郷育の推進

・児童の夢
・保護者の願い
・地域の実態・願い

教育目標
知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成

学校経営の重点
１　自ら考え　聴き合い　表現する授業づくりに努める
２　認め合い　高め合う集団づくりに努める
３　健康でたくましく　命を大切にする児童の育成に努める
４　学校・家庭・地域・関係機関との連携を大切にし　信頼される学校づくりに努める

組織目標：自ら考え　学び合い　表現する児童の育成

知のグループ
達成感（分かった・できた・なるほど）を味わう学習を通して、自ら考える力を育てる

【具体的施策】
〇基礎基本の定着の場の工夫と充実
・学習規律の確立（あいさつ・返事・姿勢・時間を守る等）
・反復学習の充実
・学習のねらいに応じた ICT の活用
〇聴く力の向上
・目的の明確化（創る・交流する・出し合う）
・学習の定着につながる振り返り
（R80：わ・が・と・も）
〇体験学習の充実
・校外学習、地域探検、出前授業、SDGｓなど

・自主的に学習に取り組む児童　80%
・主体的に学習に取り組む児童　65%

県学力診断テスト　昨年度よりプラス

心のグループ
体験活動や集団活動等を通して、お互いを尊重する心を育てる

【具体的施策】
〇よりよい人間関係づくり（自己有用感の向上）
・あいさつの励行
・行事や愛校作業の縦割り班やペア学年交流
〇自ら考え行動できる場の工夫
・村田小よい子の１日の活用
・多様な役割と活躍の場づくり
〇居場所となる学級経営（自己肯定感の向上）
・多様な意見を認め合い、折り合いをつけられる学級活動
・ルールとリレーションづくり
（Q-U、ＳＧＥ、SST、GWＴ等の活用）

・元気よくあいさつ　90%
・相互扶助　90%

〇個々の発達段階や教育的ニーズに応じた学びの場の工夫と充実

体のグループ
具体的な目標を設定することを通して、心身ともに健康な身体を育てる

【具体的施策】
〇子どもたちと創る体育の場の工夫
・跳躍力、柔軟性、踏力を高める体育指導
（体力アップトレーニング・体幹トレーニング）
・５分間走・なわとび等での持久力向上
・外遊びの奨励

・体力テストＡ＋Ｂ＝70%以上
・50 周達成 90%
・なわとび昨年度より記録更新 90%

〇危機回避能力を育成する時間の確保と場の工夫
・避難訓練・防犯教室の工夫と改善
・ICT を活用した安全指導の充実

避難訓練後の反省　自己採点 80%

〇家庭や地域との連携による実践力の向上
・食育の推進
・基本的生活習慣の定着
・ヘルスチェックの実施

地域・保護者・関係機関との連携
・各種たよりやメール配信、HP による情報発信と相互理解の促進
・授業参観・授業公開・親子活動等の設定
・PTA や「村田会」との連携
（稲作、さつまいも栽培、収穫の集い等）
・地域との連携による登下校の見守り
・保幼小中との連携
・関係機関・SSW 等との情報交換と協働による支援

組織力の向上
【人財の育成】
・校内研修の充実
（ICT の効果的な活用、聴き方、Q-U の活用）
・相互授業参観での指導力の向上
【服務規律の確保】
・良好な人間関係づくり
・コンプライアンス研修充実
【学校評価の活用と改善】

【児童と向き合う時間確保のための働き方改革】
・業務の効率化
・ウェルビーイングな働き方
【児童の安全・安心の確保】
・情報の共有化、適切な初期対応
・学校いじめ防止対策推進法に基づく日々の指導の充実
・学校事故の未然防止
・食物アレルギーへの適切な対応
・一人一人を大切にした学年・学級経営

校内研修テーマ
自主的から主体的に　学習に取り組む　児童の育成